

2021年7月・8月

『ふれあい看護体験』に参加しました

公益社団法人岐阜県看護協会主催の「ふれあい看護体験」に将来看護職に就くことを希望する生徒が参加しました。コロナ禍で昨年度は看護体験が実施されなかったため、今年度は定員を遥かに超える応募がありましたが、夏休み中の体験に、希望する生徒のうち3年生27名が参加できました。参加した生徒は、この貴重な機会を通して自身の将来を明確に見据え、夢の実現に向けて一層努力していこうと決意を固くしました。

生徒の感想

- ・私は今まで、教育の分野に進むか、看護の道に進むか迷っていました。ここ数日で少しずつ看護師になりたいという思いが強くなっていった中で、今回この看護体験に参加しました。実際に働いている方の姿を見たり、看護という分野について講義を受けたりして、やっぱり看護師という職業への興味、憧れが一気に強くなりました。長良医療センターの看護師のみなさんは自らの仕事に誇りや責任をもってやりがいを感じている方ばかりで、とても輝いてみえました。
- ・私は将来、看護師になろうということだけは決めていましたが、どの科に勤めたいかは決められずにいました。今回の看護体験では、病棟に行って患者さんとふれあうことはできませんでしたが、そこで実際に働いている職員のみなさんの姿を目の当たりにし、やはり医療の現場は忙しいと痛感しました。しかし看護師さんのお話を聞いて、患者さんへの思いやりや責任をもって働き、やりがいをもつことで充実して仕事ができることを学びました。

